

特集

年頭のあいさつ

戸籍総合システム稼働式

第49回日本復帰記念

大島地区駅伝競走大会

第14回喜界町生涯学習大会

島外者からのメッセージ

年男・年女の抱負

新成人誕生!

教育委員会のとびら

情報ひろば

消防出初式

喜界歌壇・戸籍の窓

2008年新春の喜界島

広報

きかい



No. 487



平成20年  
(2008)



生命の輝き

いのち  
生命は、この世で最も尊いもの  
昔から人間は長寿への憧れを抱きながら  
生命のリレーを今日まで続けてきた  
この島にも19世紀にこの世に生を受け  
歳月の重さを後生へと引き継がれている  
時代の証し人が存在する  
21世紀を迎えた今、IT革命により社会は  
20世紀とは明らかに異なったものへと変革した  
高齢社会とIT革命とその対称的な両者が  
この時代の今のこの国の主役である  
我々もいつか人生の晩年を迎える  
たったひとつの自分の生命が  
他者に・・・  
そしてこの島全体に輝きを与えることのできる  
太陽のような輝きをもった生命となれたなら  
どんなに素晴らしいことであろう  
今、この島の生命のひとつひとつが  
その輝きをより輝かせながら  
喜びで満ちた世界の島を太陽にも負けない位  
輝かせていって欲しい

写真 田島ナビスさん (荒木)

(明治33年生まれ 今年年女で

喜界町最高齢者107歳)

文 県立喜界高等学校

教諭 奥山 嘉邦

# 年頭のあいさつ

住民のニーズに応え

住民皆が夢の持てる

町の創造に向けて



喜界町長  
加藤 啓 雄

明けましておめでとうございます。  
います。

新しい年を迎え、謹んで町民の皆様のご健勝をお慶び申し上げます。

また、平素より町政の各般にわたり、ご協力賜りまして、心から感謝申し上げます。

昨年は、歳出全般を徹底的に見直した予算編成の下、町政を推し進めた1年間でございました。そのような中で、常に視線を町民の皆様と同じ

高さに置き、行政懇談会を通して、町民の皆様と意見を交えてまいりました。

本年もより一層気を引き締め、行政水準の向上を図り、職員と町民の皆様的心をひとつにして難局を乗り越えてまいる所存でございます。

昨年は台風がほとんどなく、適度な雨量にも恵まれ、サトウキビの今期収穫量は6年ぶりに8万ト台を超える豊作と予想されております。例年にならない豊作に町全体が活気づいており、大変喜ばしいことでございます。

また、平成19年度からサトウキビが新制度へと移行されました。新制度の下でも安定的なサトウキビの生産体制が確保できるよう関係機関・団体並びに地域と共にあって取り組んでまいる所存でございます。

平成19年度の新たな取り組みといたしまして町道や農道の伐採作業を行った集落を支

援する集落活性化報償金事業や集落環境整備をはかるための農地水・環境保全向上対策事業を導入いたしました。それにより高齢化や過疎化が進む地域の支援を協力を進めてまいります。今後、更に多くの集落が参加されることを期待しております。

ここ数年來、少子高齢化や地方分権下での改革など、地方財政は厳しい状況にございます。しかし、住民のニーズにこたえるべく政策の推進に努めていかなければなりません。

安全・安心で住民皆が夢の持てる町の創造に向けて、これまで先人達から譲り受けた有形・無形の財産に感謝して、全力で取り組んでまいる所存でございます。

おわりに、平成20年という年が町民の皆様にとって素晴らしい年になりますよう祈念いたします。新年の挨拶といたします。

共生・協働の

社会づくりを目指し



喜界町議会議長  
乾 和夫

町民の皆様、あけましておめでとうございます。

平成20年の幕が開きました。今年は、サトウキビの収量が久々に8万トの大台を超える見込みとのことで、農家・関係者の皆様とともに喜びを申し上げます。刈り取りに、搬送に、圧搾に力がみなぎっていることでありましょう。基幹産業であるサトウキビの増産が、町民の生活に活気と潤いをもたらしています。価格の新体系に対応するため部会も創設され、JA職員の方ならぬご尽力を頂いています。また、デトラッシュヤー導入による利用者負担分も今年度は据え置きと決定、生和糖業・開発組合のご英断、ご高

配を賜りました。今後も農家が安心して生産に取り組めるよう、町を挙げて環境整備に力をいれていく方針です。町民の皆様のご協力をお願い申し上げます。

今年はまだ、奄美振興開発特別措置法の期限切れを迎える年でもあります。道路・港湾の整備拡充から平張りハウスへの補助率のかさ上げ・対象品目の拡大といったきめ細かな施策まで含めて、離島の格差是正に、奄美の自立的発展のために、なくてはならない法であります。5年ごとの時限立法である奄振法の継続・延長を求め、群馬12市町村が一丸となって国・県に働きかけているところです。政府の政策が国会のねじれ現象により二転三転するという、予断を許さない政治状況になってきてはいますが「地方の元気が国の元氣」です。継続・延長を勝ち取る事が出来るよう議会もまた全力を尽くしてまいります。

三位一体の改革により地方交付税を6億円も減らされるなか、加藤町政は住民サービスや事業を維持・継続・発展させてきました。三役給与や職員手当の削減など、血のに

じむような自助努力がいまも  
続いています。「交付税の総額  
を還元し、地方に傾斜配分を」  
との声が全国の自治体から大  
きくなってきてはいませんが、  
緊縮財政に徹し健全運営に努  
めています。今この時代だけ  
からこそ共生・協働の社会作り  
が重みを増してきています。

ゴルフ場、堆肥センター等に  
続いて保育所が今年4月から  
民営化になります。町民負担  
をこれ以上大きくすることな  
く、事業・サービスを持続可  
能なものにするために必要な  
施策です。行財政改革大綱に  
則った公営事業の民営化促進  
がまたれるところでありませ  
う。町民の皆様のご理解を願  
い申し上げます。

私たち喜界町は山積する問  
題に直面しても、これを敢然  
と克服していける智慧と勇気  
が「自立自興」の理念のもと  
地域に根ざしていると感じて  
います。先達からの遺徳で  
あり、すばらしい町民性であ  
ると誇りに思っています。町  
民の皆様の益々のご健勝とご  
活躍を祈念申し上げます。ど  
うかお元気でお過ごしくださ  
い。ともにがんばりましょう。

## 喜界島の

豊かな未来を目指して  
〜激動の時代を生き抜く

人材育成



長 道 清 永  
教 育 晴

町民の皆様には、希望にみ  
ちた新年をお迎えの事とお慶  
びを申し上げます。

旧年中は、町教育行政に対  
しまして絶大なご支援とご協  
力を賜り、誠に有り難うござ  
いました。本年も何卒よろし  
くお願い申し上げます。

さて、昨年は考古学会の第  
一線で活躍している研究家等  
による『古代・中世の境界領域』  
と題した城久遺跡群について  
の公開シンポジウムや韓国博  
物館研修室長による『韓国か  
ら見た喜界島』の講演など、  
城久遺跡群の発掘に伴う民俗  
学や考古学にまつわる喜界島  
の話題が全国的に取り上げら

れた年でした。昨年暮れには、  
発掘の成果を広く町民の皆様  
に知っていただくべく、特別  
展も実施したところです。今  
後、この遺跡群を喜界町の町  
興しの重要な資源に位置付け  
て、その活用を図るため、検  
討委員会を立ち上げ、長期展  
望に立った計画を策定したい  
と考えております。

スポーツ面では、奄美の日  
本復帰記念駅伝競走大会が喜  
界町で実施され、多くの町民  
の温かい応援のもと、盛会  
のうちに終了できました。一  
昨々年、一昨年と準優勝の成  
績を収めていた喜界町の女子  
駅伝チームが、昨年はついに  
見事優勝に輝きました。その  
他、地区中学校総合体育大会  
で第一中学校の男女駅伝チー  
ムの優勝など、喜界町のチー  
ムが各種スポーツ大会で大き  
い力を発揮しました。

文化面では、滝川小学校の  
第61回全国野鳥保護のつど  
いで、環境省自然環境局長賞  
受賞、荒木子ども会の県優良  
少年少女団体表彰、第二中学  
校の兼田文音さんの地区中学  
校英語暗唱大会における最優  
秀賞受賞、第一中学校吹奏楽  
部の県大会銀賞受賞、県図画

作品展や理科研究記録展、作  
文コンクール、読書作文コン  
クールなどにおける、沢山の  
子どもたちの特選や入選な  
ど、喜界町の子どもたちが素  
晴らしい力を発揮した年とし  
た。まさに『喜界島の子ども  
たちもやればできる』という  
ことを結果で示した年であつ  
たと思えます。

昨年4月に実施された全国  
学力調査の結果、喜界町の小  
学6年生は、国語・算数とも  
に全国や県の平均を上回つて  
いるところです。中学校3年  
生は、国語は全国平均並です  
が、数学が劣っていると言  
う結果が生まれました。

島の子どもたちが、本土の  
子どもたちに伍して、激動の  
時代を生き抜いていくために  
は、『確かな学力』を身につけ  
ることが必要です。

平成20年が明けました。本  
年も『ふるさと』と自らに誇り  
をもつ教育』を基本理念にす  
えて、『喜界島の子どももやれ  
ばできる』を合言葉に、『基礎  
学力の向上』や『心豊かで心  
身ともに健康な児童生徒の育  
成』に努めてまいりたいと思  
います。

昨年は伝統文化の継承を目

指して、文化財少年団を立ち  
上げるとともに第1回島唄大  
会を開催しましたが、今年  
は第1回『島ゆみた大会』を立  
ち上げ、島の文化である方言  
の継承活動を展開してまい  
ります。また、昨年は、様々な  
機会をとらえて、『教育文化講  
演会』を実施してまいりまし  
たが、今年も、喜界町に『学  
びの風』を吹かせ、町民が心  
身ともに健康で、生涯にわた  
つて『生きがい』のある、充  
実した人生を送れるよう、『学  
びの場と機会の拡充』に努め  
てまいります。

喜界町が10年後、20年後も  
豊かで住みよい町でありつづ  
けるためには、島の経済、産業、  
文化などを支える『意欲と能  
力』にみちた人材育成が現下  
の最重要教育課題であります。  
『ふるさと』と自らに誇りをもつ  
教育』をさらに力強く進めて  
まいりたいと思えます。

本年も学校教育、社会教育  
行政の推進に、町民の皆様の  
なお一層のご支援を賜ります  
ようよろしくお願い申し上げ  
ます。

おわりに、皆様のご健康と  
ご多幸を心から祈念し、年頭  
のご挨拶といたします。

# 戸籍統合システムがスタート！



戸籍謄・抄本の発行などをコンピュータで処理する「戸籍総合システム」の稼働式が12月17日、役場住民課前でありました。加藤啓雄町長や乾和夫町議会議長、鹿児島県方法務局奄美支局の林田寛行局長ら関係者と職員が参加し、テープカットでシステム化を祝いました。これにより申請から発行までの時間が短縮されます。

加藤町長は「高度情報化、コンピュータ化された社会の実現に取り組む中、同システムにより戸籍謄・抄本は項目化され、さらに見やすく、きれいな内容で証明発行ができる。

戸籍電算化を機にさらに正確で、迅速な町民サービスの向上に向け、努力していく」とあいさつ。

来賓を代表して林田局長は「同システムの導入により事務処理が大幅に改善され適正・効率的な事務処理が可能となる。今まで以上に行政サービスの向上が図られる」と期待を寄せました。

稼働式後には、加藤町長がコンピュータの出力ボタンを押し、戸籍証明書の第1号を発行しました。

電算化された戸籍数は約7651戸、人口は1万8668人（島外含む）。早町支所の管轄する戸籍を本庁で統合し、早町支所での届出は今年の3月まで従来どおり。発行は新年度の4月から本庁と早町支所2カ所で行い、除籍と改正原戸籍は今年度末の電算化に向け準備を進めていきます。

また、同システムの導入により戸籍謄本は「全部事項証明書」、戸籍抄本は「個人事項証明書」へと名称を変更し、「発行手数料については、従来どおりとなっております。」

## 喜界町女子A初の栄冠！ 男子Aは3位入賞を果たす



第49回日本復帰記念大島地区駅伝競走大会が12月9日、郡内から男子10チーム、女子8チームが参加して開催された。本町からは男女2チーム（オープン各1）が出場し、喜界女子Aが逆転で悲願の初優勝を飾った。喜界男子Aも3位入賞を果たす健闘を見せた。

競技は役場前を発着点に南回りで男子が島内を一周する5区間33・1キロ、女子は先山集落手前を折り返す5区間17キロのコースであり、女子が午前10時、男子が午後1時にそれぞれスタートしました。

喜界女子は中高中生を主体にチームを編成。1区の藤崎由実（喜界女子A）が区間賞の活躍でトップに立つとそのまま終盤まで安定したレースを

展開。喜界女子Aを追う奄美Aは、最終5区で久保美貴（喜界女子A）をかわすが、奄美Aの選手が道路中央線を越えて右側に出る競技規則違反で10秒のペナルティを科されたため、2秒差で喜界町女子Aが初の栄冠を手にしました。

最終区の久保選手は「自分のペースを守り、抜かれてもゴールまでついていこうと必死で走った」とレースを振り返り、「沿道の応援やチームメイト、両親の後押しが終盤の粘りにつながった」と語った。

男子は中高中生と一般で各年代、力のあるバランスのとれた選手でチームを構成。1区は区間2位で富裕太郎が試合の流れを作ると、続く2区賀光哉がトップ奄美Aとの差をぐんぐんと縮め、奄美Aをかわし一時はトップに躍り出る。中盤以降はエースの前島将太や4区の坂登のスペシャリスト谷口亨、5区キャプテンの積山寿久が力走を見せて、追走する瀬戸内町を振り切り3位でゴールしました。

喜界町駅伝チームは猛暑の中、20キロから30キロの走り込みと9月からのスピード練習に励み地元開催に挑みました。

第49回日本復帰記念大島地区駅伝競走大会成績表

男子		総合順位	チーム名	総合タイム	1区(高校生) 6.7km	2区(中学生) 4.9km	3区(フリー) 8.7km	4区(フリー) 5.3km	5区(一般) 7.5km
3位	喜界町A	1:57:46	富 裕太郎 0:23:34 (2) 0:23:34 (2)	賀 光哉 0:40:11 (1) 0:16:37 (1)	前島 将太 1:12:33 (4) 0:32:22 (7)	谷口 亨 1:32:02 (3) 0:19:29 (3)	積山 寿久 1:57:46 (3) 0:25:44 (4)		
6位※1	喜界町B	2:02:33	坂元 洸哉 0:23:56 (3) 0:23:56 (3)	梅 龍飛 0:42:01 (9) 0:18:05 (9)	生島 常智 1:15:18 (9) 0:33:17 (9)	久保 圭輔 1:34:46 (2) 0:19:28 (2)	山根 敦介 2:02:33 (9) 0:27:47 (9)		
女子		総合順位	チーム名	総合タイム	1区(高校生) 3.7km	2区(中学生) 3.0km	3区(一般) 3.6km	4区(フリー) 3.0km	5区(フリー) 3.7km
1位	喜界町A	1:08:36	藤崎 由実 0:14:07 (1) 0:14:07 (1)	美代 奈津実 0:25:23 (1) 0:11:16 (1)	上島 仁美 0:40:23 (1) 0:15:00 (3)	園田 樹子 0:52:44 (1) 0:12:21 (2)	久保 美貴 1:08:36 (1) 0:15:52 (3)		
4位※1	喜界町B	1:11:31	山元 由紀子 0:15:01 (3) 0:15:01 (3)	登 小葉瑞 0:27:07 (6) 0:12:06 (6)	田中 明子 0:42:11 (6) 0:15:04 (6)	生島 小梅 0:55:03 (6) 0:12:52 (6)	岩切 華子 1:11:31 (5) 0:16:28 (5)		

※1 オープン出場による相当の順位

朝日浩之監督は「沿道での手作り日章旗での応援や各中継所での婦人会による接待など町民挙げて選手を激励いただき感謝している」と語りました。

また、この駅伝の様子はあまみFMラジオ局が初の試みで実況生中継し、各区間の選手の手動きがリアルタイムに放送され、大好評でした。

# 自ら学び、心豊かで活力に満ちた

## 「うるおいのあるまちづくり」をめぐりて



▲テーマに基づき意見交換(分科会)



▲オープニング 第一中学校吹奏楽部の「川の流れるように」他

# 第14回喜界町生涯学習大会

「自ら学び、心豊かで活力に満ちた『うるおいのまちづくり』をめぐりて」をめぐりて「活気に満ちた文化と産業のまちづくり」を大会テーマに第13回喜界町生涯学習推進大会が12月2日、町体育館をメイン会場に行われました。大会では6分科会に分かれ、事例発表や2年間の実践事項の反省、これからの実践事項を話し合うとともに、北陣和春さん(元関協麒麟児)の講演会やアトラクションを通じて、生涯にわたって学び続けることへの理解を深め、学習意欲を高めます。

した。作品展示では町内各小・中学校の児童・生徒や公民館講座受講生らの絵画や文芸、工芸作品などが展示され、訪れた観客の目を引きました。第一中学校吹奏楽部の演奏で幕を開けたオープニングでは、加藤啓雄町長、乾和夫町議会議長のあいさつ、祝辞のあと表彰式があり、教育部門で功績のあった西島昭雄さん(島中)、政倉玄一郎さん(浦原)、吉本敏子さん(池治)の3人にそれぞれ表彰状と記念品が贈られました。続いて6つの分科会に分か

れ、それぞれテーマに沿った話し合いが行われました。事例発表には、荒木民族芸能保存会や上嘉鉄八月踊り保存会、町生活研究グループなど7組の個人・団体が立ち、それぞれの活動報告や提言、課題が述べられ、活発な意見が交わられました。最後に今後2年間のテーマと実践事項を決め、全体会で発表されました。(表参照)

午後からはアトラクションがあり、上嘉鉄青年団による寸劇「禁じられた方言」の舞台、文化協会所属の各団体が伝統芸能や三味線、島唄などが披露されました。

「わが相撲人生 継続は力なり」と題した北陣和春さんの講演会には約700人の聴衆が訪れ、熱心に語る北陣さんの一言一言に耳を傾けていた。北陣さんは「現役時代を振り返り「初心を忘れず、人に勝つより自分に勝つ、人に優しく自分には厳しく、こうした目標を常に持ち続けてほしい」と話しました。

## 各分科会実践事項

### 第1分科会 自立を育む青少年教育部会

○地域・家庭・学校において、子どもが主役となる場を与え、大人も積極的に協力します。

### 第2分科会 潤いと安らぎのあるまちづくり部会

○「おはよう、こんにちは、さようなら」のあいさつをします。

### 第3分科会 生き生き健やか健康部会

○自分にあった健康法、バランスのとれた食事・運動を継続します。

### 第4分科会 豊かな心を育む文化活動部会

○各集落のリーダーを中心に組織を作り、DVDも活用しながら八月踊りの伝承活動を活発にします。

### 第5分科会 美しいふるさと環境部会

○アキ缶のポイ捨てをやめ、買い物袋持参でゴミ減量化に努めます。

### 第6分科会 活力あるふるさと産業部会

○地域の特性を活かした環境保全型農業を図り、各分野における担い手不足解消に努めます。



▲熱弁を振るう元関協麒麟児



# ●島外者からのメッセージ●

広報きかいを購読されている島外の方々を対象に無作為で選び、新年にあたり島への思いなどをメッセージとしていただきました。

森島典治（埼玉県）

新春献上。

わが愛する故郷喜界島を離れて54年余り、何にもチャレンジできる贅沢、悠々人生を楽しむサンデー毎日の年男である。さて、税制改正大綱が発表された。注目すべきは「ふるさと納税である。故郷を離れた老若男女諸氏よ町おこしのために寄付金税制に積極的

に参画することを提言します」。ふるさと喜界のため新年に記す。

藤崎嘉文（福岡県）

島を離れて27年、子ども3人は、東京と四国で大学生活、今は夫婦2人の生活です。後4年で私も定年になります。今は仕事を辞めるわけにはいきませんが、ゆっくりできたから、島に帰ることを楽しみにしています。新年にあたり福

いた海、私の胸に焼き付いている。

乾竹造（大阪府）

ふるさと喜界島は私を育ててくれた懐かしい島。いつも父母の面影が偲ばれ、本当に思い出深く忘れ得ぬ大切な宝の島で感謝の念で一杯です。興味深いのは島独特の言葉で何ともいえぬ味わいがあったて会話も楽しい。島を応援する一人として、喜界島の基幹産業であります黒糖、タンカンなどをもっとアピールすることによって島の活性化につながる様に思います。最後に喜界島の益々のご繁栄を願っています。

澤敏弘（大阪府）

明けましておめでとうございます。私は大阪生まれの二世です。子どもの時に父為助から喜界島の人情、自然は最高と聞き、帰省の度に実感して育ちました。今は喜界島が私の命の源泉と思っています。島人の絆を深め、心寛く郷友会を目指します。喜界島の益々の発展をお祈りします。

嘉村公一（鹿児島市）

気づけば島で育った年月より離れて暮らす方が長くなりました。今年で40歳。

”おっさんになったなあ“ 鹿児島で生まれ育った娘たちは、唄の意味はまだまだ理解できなくとも『行きゆんにや加那』を口ずさみ三味線を楽しく習っています。故郷を想う心を大切にしていきたいです。

伊東秀子（東京都）

島を離れて20年。子ども共に夏休みに帰省するのがかけがえない楽しみみです。

子どもには「知らない人とは話さない。防犯ブザーをいつでも携帯すること」と教えている私に、島の小中学生はいつでもにこやかに挨拶してくれます。帰る場所のある有り難さを痛感するとともに、このまま素朴で人情味溢れる自然の美しい島であってほしいと願っています。

原アキコ（愛知県）

明けましておめでとうござい。島を離れて40年が過ぎ

帰る度に、機内から見える青い空、コバルトブルーの洋上に浮かぶ夢の島”喜界島“。自然に囲まれ都会では決して見ることの出来ない満天の星、そして人情の暖かさ。故郷が喜界島である事を誇りに思い、いつまでも美しさが変わらな

吉山稔（東京都）

早いもので、今年で島を離れて暮らすほうが長くなってしまいました。わがままで島を離れ生活してはいますが、島に帰り近所の方や親戚・同窓に会う度に都会では味わえない暖かさを頂き、元気の素となつていきます。こうして生活できていくのも「人情の島」喜界島の人のおかげだと感謝します。

勝手ではありますが、島をよろしくお願い致します。



# ●子年生まれの年男・年女●

各年代男女1人ずつ無包作為に選び、今年の抱負を語ってもらいました。

## 大正13年生まれ

**大山哲夫(湾)**  
新年あけましておめでとうございます。戦前戦中戦後の波瀾万丈の時代を生き永らえ、平和の有り難さが身に染みる昨今です。「趣味とスポーツに多くの友と学習することのすばらしさ、健康であればこそ」と実感する一年でした。八十路の坂を遅しく超えて行こう。

## 西島リキ子(島中)

子歳の年女。気持ちはまだ若いつもりでも、年と共に色々と病気が追っかけて来るこの頃です。でも今年を機に、無理せず自分を労わり、ストレスに打ち勝つ努力と生命の尊さと有り難さを心に、前向きに明るく楽しく日々を送っていきたく考えています。

## 積山ヒデ(先内)

「年寄ればたいがいの事は気にせず、大事なことのみ記帳して覚ゆ」。4.5年程前、新聞で紹介された言葉です。この言葉を支えに、島の自然の恵みを体いっぱいと感じつつ、畑仕事を楽しむ日々を送り、85歳を迎えます。

## 昭和23年生まれ

## 浜田正己(先山)

謹賀新年

## 昭和11年生まれ

## 高見則男(湾)

70歳に達したら体力や記憶力が衰えて、痴呆に入ったのではないかと心配する事もあります。健康を守るため、ゴルフや散歩

**喜禎美津子(湾)**  
人生経験も浅いまま結婚。今日まで子育てや家業など目まぐるしい日々でした。

還暦という節目にこれからの余生をどう過ごすか、伴侶との生活もあります、自分自身の悔いのない人生を送る為に未知の世界の扉も開いてみたい、と新たな夢が広がっています。

## 昭和35年生まれ

## 松村隆之(赤連)

新年明けましておめでとうございます。本年は私にとって「人生の節目の年」。一日一日を大切に、心身共に鍛え、喜界島の発展の担い手として邁進したいと思っています。

## 宜名真孝子(湾)

流行の唄をミニスカートで歌いまくり、「あなたは20代のままで、年をとらないかもねー」など、おだてられ大切にされてきたあの頃。まさか今日この日が、訪れるとは・・・。それでも前を向き、この大好きな喜界島で大好きな人たちと暮らして行きぶさー。ワアーチャ島で

## 昭和47年生まれ

## 佐藤貴紀(上嘉鉄)

喜界島歴3年。島の方々は何と親切なことか。おかげ様で子供を授かり、幸せな毎日です。年男にあたり、ここで気持ちをリセット。初心に返って生徒たちに全力で向き合おうと考えています。喜界島の将来を担う人材育成に少しでも尽力すること、島の方々へ恩返しをしたいです。

## 廣由美子(上嘉鉄)

明けましておめでとうございます。主人と二人の子どもに囲まれて楽しくも慌ただしい毎日を送り、気がつけば36歳の年女。ねずみ年の今年も元気に走り回りに、家庭が明るく元気であるように頑張っていきたいです。そしていつか公民館講座(陶芸教室)にも通ってみたいと思います。

## 昭和59年生まれ

## 南山和弘(小野津)

喜界島で保育士になり1年半。この短い期間でたくさん子ども達と出会い、そして触れ合いながら楽しい毎日を過ごしています。来年度から保育所は民営化になります。新しいスタートに立ち、島の未来を担っ

ていく子ども達を支えていきたい。

## 喜禎由香(中里)

今の仕事に就いて、1年半が過ぎました。当初はなかなか仕事に慣れず接客業の難しさを実感しましたが、周りのスタッフの協力により、今では毎日楽しく仕事を頑張っています。今年も、笑顔を絶やさず、心を込めた接客を心掛けていきたいと思っています。

## 平成8年生まれ

## 山口祐樹(塩道)

僕が、6年生になった時、人数が少ないので、色々な役目、役割があると思います。大好きな早町小学校、そして友達と楽しく活動していきたいです。そのため、風邪を引かないように、お母さんの美味しい料理をたくさん食べて元気に過ごしたいです。

## 深水優希奈(池治)

私は、来年6年生になります。最高学年としてしっかり下級生をまとめたりまた、進んで色々な行事に参加したいです。勉強やスポーツ、未来に向かって充実した一年にしたいです。

# 新成人誕生！ 137人が大人の仲間入り ～成人を期に共に自分を高めていこう～



## 新成人としての抱負（一部抜粋） ～第一・第二中校区代表～



成人式を迎え、支えてくれている人たちへの感謝と社会の一員としての自覚を改めて胸に強く持ち、大学生活の中で与えられた時間をフル活用し、社会に目を向け努力を重ねていきたい。

早町中学校  
代表 鎌田真美



これまで育てていただいた家族や先生方、地域の方々へ感謝の気持ちを忘れず、喜界島出身という誇りを胸に、将来は島の医療に貢献できるように努力したい。

第一中学校  
代表 光 悠作

平成20年喜界町成人式が1月2日、自然休養村管理センターで行われ、137人の新成人が出席。大人としての門出を祝い、今後の活躍を誓った。オープニングでは新成人の前島将太実行委員長

が「これからは、それぞれの価値観や感性を磨き、共に自分を高めていこう」とあいさつ。また、成人者の大山結奈さんの島唄やCDデビュー後も島を離れず活動が続いている兄弟デイト「doki doki」が成人者へ唄でメッセージを贈った。着物やスーツ姿の新成人を前に加藤啓雄町長は「成人を迎える喜びを大切にしていこう」と期待した。

まで育ててくださった家族や地域の人達へ感謝し、郷土喜界島をいつまでも愛して「清道教育長は「大人のスターラインに立った今、自分の立てた『志』を諦めずに、陽転の発想で粘り強く、自分の人生を切り開いていってほしい」、乾和夫町議会議長は「よく耐えたものにたわわに実がなる事は自然界の摂理。皆さんの歩みが一步一步確かものであり、未来が輝くものとあつてほしい」と期待した。

また、廣清太会長（喜界町青年連絡協議会）は「皆さん一人ひとりが進んでいく人生は違うが、シマッチュであることを誇りに、胸を張って自分の目標に向かって頑張つてほしい」と励ました。

新成人は選挙管理委員会から記念品を受け取り、選挙権を手にした喜びと責任を認識し、喜界町民歌を斉唱、最後は藤村昭五副町長の万歳三唱で締め、式を終えた。

会場では、数年ぶりに会う友人と肩を組み、互いの近況を語り合うと同時に、社会人としての自覚と新年に向けての決意を新たにしたい。



6年ぶりに8万トを超え！島の経済も潤う  
～喜界町糖業振興会総会他～



喜界町糖業振興会総会、さとうきび価格対策協議会総会が12月4日、自然休養村管理センターであり、平成18年度の事業経過報告および収支決算、平成19年度の事業計画および収支予算がそれぞれ承認されました。

糖業振興会総会で加藤啓雄町長は「さとうきび産業は豊作や凶作によって本町の経済の活性化が良くなるか悪くなるか重要な作物。6年ぶりに8万ト台を超え豊作が予想される今年、皆様は本町の産業を担っていることを胸にこれからも産業発展のため頑張つてほしい」と激励しました。平成18年度はハリガネムシ防除費に358万円を計上。引き続き病害虫防除対策に力を入れます。

町ハーベスター連絡協議会  
からのお知らせ

ハーベスター刈り取り料  
(トン刈り)  
5、500円(基準)  
※デトラッシャー処理費用  
については、燃料高騰により別料金。

また、さとうきび生産振興大会では大島支庁農林水産部農政普及課の海田孝二技術補佐のさとうきび情勢報告の後、生和糖業・赤松幹雄社長がさとうきび生産対策協議会報告で登壇。赤松社長は「新制度の移行に伴い、クロマトウの操業はやむ得ず廃する方向で決定した。新しい制度に突入しますが、生産者と製造業者は運命共同体。さとうきびが増産されることは島の経済にもメリットがある。さとうきびが年々増産されることを願っている」と述べました。

生和糖業(西一臣工場長)が12月10日、今期の製糖を開始した。工場内で出発式があり、JA喜界町の嶺禎一郎組合長は「今年台風や干ばつなど自然災害が無く、6年ぶりに8万ト台の豊作となった」とあいさつ。当初の8万3千トを1月の段階で8万5千トに予想を修正し、大幅な増産を見込んでいる。搬入は期間が4月11日までの予定。

教育委員会の  
とびら

11月16日に役場コミュニティセンターで、本町浦原出身で近畿弁護士会連合会理事である模泰吉弁護士を講師にお迎えし、「ある弁護士の雑感」と題し、特別講演会を開催いたしました。

講演内容は、平成21年からスタートする裁判員制度についてのお話し(10分間程度のDVDを含む)や喫緊の課題として多重債務問題や取り調べの録画・録音についてなど、懸案事項等例に挙げてご説明いただきました。

当日は、本町出身の弁護士の話が聞けるとあり、多くの町民が参加しました。

平成19年度喜界町教育委員会  
委嘱PTA活動研究公開

11月25日に第二中学校で標記研究公開が開催されました。昨年度から「子どもに家庭学習の習慣を身につけさせるためには、学校・家庭の連携や取り組みはどうあればよいか」

という共通テーマを設定し、各単Pで取り組んできました。

第二中学校PTAの事例発表では、曜日ごとのノートレジタイム設定による家庭環境の整備や宅習ノート「がじゅまるノート」の見届け・声かけなどの学習支援態勢の強化を図り、家庭学習の習慣化に向けて取り組んでいるという発表がありました。

また、県立喜界高等学校の月精清教校長を講師にお招きし、「高校の実態から見た家庭教育への提言」と題し、ご講演いただきました。

参加者は具体的に成果の見える意見交換ができ、今後の各家庭や単位PTAでの実践に参考になったことと思います。



生徒と先生方による  
アトラクション(そろばん踊り)

▼本物の舞台芸術に感動!



平成19年度

「本物の舞台芸術体験事業」

10月26日に湾小学校体育館で人形劇団ひとみ座による人形劇「あやうし ズッコケ探検」の公演がありました。

これは、文化庁の事業で児童に優れた舞台芸術を鑑賞し、芸術文化団体等による実演指導、ワークショップやこれらの団体との共演に参加し、本物の舞台芸術に身近に触れる機会を提供することで、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うことを目的として開催されました。

物の舞台芸術に身近に触れる機会を提供することで、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うことを目的として開催されました。

鑑賞した児童からは、「とても面白かった。また観たいです」という感想が聞かれ、その日の夕食でも各家庭で話題になったそうです。

## 喜界町職員（保健師）募集

喜界町では、住民の健康づくりに意欲のある保健師（正職員）を募集します。

- 採用職員  
1名
- 採用時期  
平成20年4月1日
- 応募資格 次の条件をいずれも満たす方
  - ①年齢制限 40歳位までで、保健師免許取得又は採用時まで資格取得見込みの方
  - ②喜界町に住所を有している方、又は、採用後喜界町に移住できる方
- 申込期限  
平成20年2月18日（月）まで
- 選考方法  
事前に受験申込書をご提出いただいた上、小論文、面接を行います。（応募者に別途通知（平成20年2月下旬予定）



### 問い合わせ先

〒891-6292

鹿児島県大島郡喜界町湾 1746 番地

喜界町役場 総務課人事係

☎0997-65-1111

### ふるさと人材相談室の紹介

鹿児島県では、県内企業の人材確保を図るため、「鹿児島県ふるさと人材相談室」において、県内企業の中核的な人材となるようなUIターン希望者を対象とした無料職業紹介を実施しています。

ふるさと人材相談室では、登録いただける求人・求職者を募集しています。

ホームページアドレス

<http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodou/ui/index.html>

詳しい内容については県商工労働部雇用労政課へお問い合わせください。

☎099（286）3026

### 交通事故無料相談

社団法人日本損害保険協会では自動車保険請求相談センターを全国に設置し、交通事故でお困りの方々の自賠責保険や任意自動車保険の請求について、一切無料で相談に応じています。県内では次の相談センターで相談を受け付けています。

鹿児島自動車保険

相談センター

### 奄美群島振興開発総合調査報告書原案（要旨）に係る意見募集について

県では、今後の奄美群島の振興開発の方向・方策を明らかにするため、奄美群島振興開発総合調査を実施していますが、このたび、調査報告書原案（要旨）を作成しましたので、内容に関して御意見等がありましたら、お寄せくださいますようお願いいたします。

なお、調査報告書原案（要旨）については、2月10日頃を目途に公表することとしていますので、市町村企画担当課で閲覧いただくか、又は県のホームページを御覧ください。

☎099（252）3466  
（直通）  
相談日 月曜日～金曜日  
（9時～12時、13時～17時）  
（祝日を除く）  
弁護士相談日  
毎月第2・4木曜日  
（13時～16時）  
（予約制・要面談・無料）  
※専門の相談員が相談に応じます。  
※損害保険一般の相談も受け付けます。

お詫びと訂正  
先月号P3「駅伝大会区間成績表」中とP16「写真で振り返る喜界島」の8月22日の説明で誤りがありました。お詫びして訂正いたします。  
P3  
誤Ⅱ吉沢太郎  
正Ⅱ吉沢凜太郎  
P16  
誤Ⅱ永志保野  
正Ⅱ永志保

〈応募方法〉	はがき、封書、FAX、県ホームページの電子メールにより「鹿児島県離島振興課」宛にお送りください。
〈募集期限〉	平成20年2月29日（金）必着
〈問い合わせ先〉	鹿児島県企画部離島振興課 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号 ☎099-286-2443、2450（直通） FAX 099-286-5531 県ホームページ： <a href="http://www.pref.kagoshima.jp/">http://www.pref.kagoshima.jp/</a>

# 迫力の一斉放水…消防出初め式



め、献身的に努力されています。近年、社会の急速な発展に伴い、発生する各種災害も複雑多様化する中、今後も地域住民から信頼される消防業務に努めてほしい」と式辞を

平成20年消防出初め式が1月6日、総合グラウンドであり、消防署員や団員、阿伝小学校の児童で編成する少年消防クラブら約200人が参加、訓練された隊列行進や迫力ある一斉放水を披露しました。

特別点検の後、加藤啓雄町長が「消防団及び署員の皆様は喜界町民の生命、財産を守るため、出初めを祝いました。被表彰者は次のとおり（敬称略）。

- 【鹿兒島県消防協会表彰】  
功績章Ⅱ直喜一郎・前底浩喜・徳島祥弘・倉橋博都・重宏和・松平浩久・禎正利・本田忠・精績章Ⅱ幸久光・作孝二・平田正広・吉見勝雄・久保秀敏・河上弘仁・向井信義
- 【鹿兒島県知事表彰】  
10年勤続章Ⅱ深水辰雄・柳宏忠・澄道夫
- 【鹿兒島県消防協会大島支部長表彰】  
15年勤続章Ⅱ吉見勝雄・平田正広・久保秀敏・幸久光・作孝二
- 【町消防団長表彰】  
大喜一之・米田光弘・平田文人・岩井大樹・田向浩昭・榮勝太・春日真也・岩元栄樹・伊藤誠・酒井友和・東正人

## 喜界歌壇

初日射す居間の窓辺に山茶花の華やぎそえる赤きその色

嶺倉 祝子

人生の山坂越えて老いし友手を取り合いて今日を樂しむ

北島 シナ

暖き初日の光に緋桜の蕾み生まれてほころぶを待つ

有村 道子

新春の潮届きて磯のあをさ萌え波に踊りし緑の群生

竹田 ヨシ子

新しき年の光りの島に差し花咲き満ちて小鳥飛び交う

平尾 チヨ

ゆとりなき日々過ぎゆけど迎春の千両活けてしばし安らぐ

屋良 ミノ子

如月の荒磯にしぶき被りつつアーサー摘み居る吾れの初夢

美代 イシ

初日の出世界平和を祈りつつ拜む柏手二〇〇八年

郡 市子

新春を寿ぐ琴の友どちとめでたき曲弾く佳き年なれと

弥島 幸子

垣根なき国の在りよう願いつつ地球儀なぞり新年寿ぐ

武田 幸子

喜びも憂いも越えし八十路坂光あまねし初日おろがむ

林 蓮香

## 戸籍の窓

こんにちは 赤ちゃん

氏名 保護者 住所

豊雄 翔博 則 湾

いつまでも お幸せに

氏名 住所

榮村 優太 佐手久

利元 好美 笠利

倉橋 慎吾 志戸桶

満留 毅か 志戸桶

福岡 月見 上嘉鉄

久山 忍志 志戸桶

吉川 珠美 志戸桶

白坂 達則 赤湾

ごめい福をお祈りします

住所 氏名 年齢

小野津 湾 杉田 廣彰 66才

花良治 栗島 ヤス 93才

赤連 清水美代子 79才

志戸桶 新原 幸久 80才

羽里 直志トシエ 78才

## 社協だより

■香典返し

志戸桶 濱上 スエ

蒲生 高見 久枝

赤連 清水 照男

小野津 杉田 村子

志戸桶 新原 ソノエ

羽里 市山 文一

## 喜界町の推計人口

(平成19年12月31日現在)

世帯数	3,759戸 (+2)
人口	8,394人 (-13)
男	3,984人 (-1)
女	4,410人 (-12)

# 2008年 新春の喜界島



◇初詣◇

一年の計は元旦にあり。無病息災など祈願する参拝者。  
(住吉神社=池治)



◇元旦駅伝競走大会◇

新春の喜界路を快走。11チーム、フルマラソン1人。  
優勝「じゃじゃまるチーム」



◇元旦バスケットボール大会◇

中・高・一般の男女が館内を縦横無尽に  
白熱したプレーを展開



◇元旦ゴルフ大会◇

ペスグロは通称アンパンマン。

荒れるニシ風の中、その“商売人ショット”が冴える。  
優勝= 宜名真正博さん(湾在住)=写真右



◇ソフトテニス NEW YEAR CUP◇

賑やかにポーズ。友と快い汗を流す。



◇元旦サッカーフェスティバル◇

降りしきる雨にも負けずハツラツとゲームを楽しむ



◇敬老会◇

新敬老者を迎え、集落民で盛大に祝う。